

# 平成27年度事業報告に関する件

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

## 全体概要

### I 概要

公益財団法人として本法人が誕生したのは、平成23年10月であるが、その前身となる、財団法人「京都文化交流コンベンションビューロー」は、平成19年1月の設立である。

については、現法人名として活動して以来、昨年度で9年目を満了し、平成29年1月には10周年を迎えることになる。

誕生当初の事務局は、源氏物語千年紀委員会を含め18名でスタートし、その後はほぼ20名前後で推移してきたが、所管事業の増加と、業務内容の充実のために、近年は大きくその体制強化を図ってきたところであり、平成28年4月1日現在、31名体制となっている。

この間、源氏物語千年紀の推進や、古典の日法制化の実現に取り組み、近年はコンベンション単体の誘致から、MICEへと拡大し、新たにインバウンドの推進も業務内容に加え、また文化面では琳派400年記念祭に取り組んできたところである。

そういう意味で、平成27年度は本法人の文化面、観光面ともに、これまでの実績を糧にして、更に大きく飛躍を果たすことができた年度となった。

まず、文化面では平成27年は琳派が誕生して400年という節目の年を迎え、平成26年6月から、府、市、会議所とともに琳派400年記念祭委員会を発足させ、事務局として積極的に活動を行い、当初の想定を上回る大きな盛り上がりを出出することができたと考えている。

本記念祭に伴い、京都府内で約179万人の方が各種展覧会やイベントに参加され、その経済効果は127億円に上ると推計している。

また、展覧会だけでも88万人の方が府内の博物館や美術館に足を運ばれたことになり、平成31年の世界博物館会議開催を控え、これら施設が芸術、文化に身近に触れ合う場として、本記念祭を契機として府市民に鑑賞への動機づけを与えたことは誠に大きいと考えている。

一方、観光面では一昨年、京都での国際会議開催件数で初めて200件の大台を越える成果を上げたが、昨年はそれを更に上回る過去最高の開催件数となった。

また、インバウンドの分野においても、2年連続で世界的にも著名な旅行誌の読者投票

で世界一の観光都市に選ばれるとともに、京都市内主要ホテルでの外国人宿泊割合が平均で35%にまで達するなど、極めて好調に推移しているところである。

以下が平成27年度の重点施策別の取組状況の結果である。

## Ⅱ 5つの重点施策の推進

### 1 プレゼンスアップ

本プレゼンスアップの取組は平成24年度から、本法人の存在を広く周知、広報することによって、法人業務の円滑な推進と、自主財源となる賛助会員の増強を主たる目的として推進してきた。

平成27年度は、琳派400年記念祭を委員会事務局として企画運営するとともに、観光面ではMICE、インバウンドとともに過去最高となる成果を上げるなど、各種メディアにも頻繁に取り上げられ、文化・観光の両面から本法人のプレゼンスは更に高まったと考えている。

また、賛助会員数も平成27年度末で370法人、601口となり、取組前の平成23年度末と比較すると、会員数で126法人、口数で245口の増加となった。金額では平成23年度と比較して、年額で1,225万円の増加となっている。

### 2 MICE戦略の推進

平成25年度より、観光庁から東京、横浜等とともに「グローバルMICE戦略都市」として指定され、様々な指導を受けるとともに、京都市からの助成金の大幅な増加などを基盤として、体制面も含め着実にMICE戦略の拡充に努めてきたところである。

その結果、平成26年には初めて年間開催数で200件の大台を越え、更に平成27年には過去最高となる213件を記録したところである。

また、昨年は平成31年開催予定の世界博物館会議をはじめ、数千人規模の大型国際会議の京都誘致に5件成功するとともに、日本医学会総会の開催もあり、総参加者数が初めて、過去最高となる16万人の大台を越えた。

これは体制面、そして予算面での強化に伴い、MICE誘致ツールを充実させるなど、これまでの待ちの姿勢から、積極的に主催者サイドへの働きかけを強めてきた成果が数字として、現れてきたと考えている。

### 3 インバウンド・プロジェクトの推進

平成 27 年の訪日外客数がおよそ 2 千万人となるなど、近年、外国人観光客が爆発的に伸びる中で、これまで京都は観光立国の先導役としての役割を果たしてきた。具体的にはラグジュアリー層への働きかけや、ムスリム対応を国内でもいち早く推進するとともに、免税店化への支援やクレジットカードでの決済環境の拡充などに努めてきた。

平成 27 年度末で免税店は 1,000 店を突破し、加えて新たに、国の特区制度を活用した京都市認定通訳ガイドの育成を受託し、鋭意取組みを進めており、本年夏には 1 期生が誕生の予定である。今後、競合する国内観光地との差別化を図っていく上で大変重要な取組と考えている。

また、京都府内で進められている広域での観光施策に連携して取り組むとともに、札幌市等とともに海外富裕層の誘致を図る仕組みを構築するなど、本法人として、広域連携を今後より一層推進していく。

### 4 京都迎賓館への支援

京都迎賓館は日本の歴史、文化を象徴する京都で、海外からの賓客をお迎えし、日本への理解と友好を深めていただくことを目的に、赤坂に次ぐ 2 つ目の施設として平成 17 年に完成し、これまで、本法人は京都迎賓館を支援する地元の中核組織として、国公賓の接遇や一般参観への協力、またシンポジウムの開催などに努めてきた。

こうした中、国においては、観光立国実現のシンボリックな取組として、赤坂・京都の迎賓館を通年公開していく考えを年初に発表されたところである。

本法人としても、一般参観の大幅な拡充について、全面的に協力することとし、本取組を通じて、より広く、日本の伝統文化の粋を極めた京都迎賓館の周知を目指していくとともに、京都観光の振興に資していきたい。

### 5 琳派 400 年記念祭の推進

平成 26 年 6 月建仁寺での委員会発足の記者会見からスタートした本取組は、文化面をはじめ多岐に渡る、大きな効果を創出した。

平成 26・27 年度に京都府内で実施された行催事を対象にアンケート調査を行ったところ、琳派 400 年記念祭として行われた展覧会やイベント等が 181 件開催され、155 万人の方が来場されたことが分かった。

そして、琳派ゆかりの地に 24 万人の方が来訪され、合わせて京都府内全体で 179 万人の方が記念催事に参加されたと推計できた。

また、記念祭に関連した商品等が 173 種類製作、販売された。

これらの取組によって、2年間で京都府内に127億円の直接的な経済効果(消費額)をもたらしたと推計している。

特に、京都での入場者数の増加については、全国規模の総合専門紙が主催する2015年美術展入場者数調べの中で、「琳派400年で沸く京都」という表現で特筆され、文化庁の京都移転、そして東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムへの波及など、京都への期待を含め、全国から注目を集めたところである。

## 部 門 別 概 要

### I 文化交流発信事業（公益目的事業）

#### 1 古典の日推進事業

##### （1）「古典の日」普及・定着のための事業

###### ①琳派400年記念古典の日フォーラム2015

1 開催日時 平成27年11月1日（日）13:00～16:35

2 開催場所 国立京都国際会館メインホール

3 参加者 1,765名

4 概要

- ・狂言「神鳴」茂山逸平ほか
  - ・主催者挨拶 古典の日推進委員会  
会長村田純一  
京都府副知事山下晃正  
京都市長門川大作  
宇治市長山本正
  - ・第7回古典の日朗読コンテスト大賞受賞者による作品朗読  
(坂戸咲野・岡田八千代)
  - ・連続講演「古典と私」
    - ①「冷酒と古典は後で効く」山田五郎（評論家）
    - ②「海外で学ぶ古典の心」彬子女王殿下
  - ・琳派400年記念「日本の美宣言」藤原紀香（京都国立博物館文化大使）
  - ・パネルディスカッション「琳派とジャポニスム」  
パネリスト彬子女王殿下、高階秀爾（大原美術館館長）、  
山田五郎（評論家）  
コーディネーター： 河野元昭（京都美術工芸大学学長）
- 5 主 催：古典の日推進委員会、琳派400年記念祭委員会
- 6 共 催：NHK京都放送局、国立京都国際会館
- 7 後 援：京都国立博物館、京都新聞
- 8 入場料：無料



###### ②第7回古典の日朗読コンテスト作品募集

（1）課題作品：一般部門、中学・高校生部門

「伊勢物語」、「源氏物語」、「古今和歌集」（仮名序）

(2) 応募総数：558作品

(一般部門223作品、中学・高校生部門335作品)

(3) 審査委員：特別顧問／芳賀 徹 審査委員長／菊川徳之助

委員／高橋清之、端田宏三、星野祐美子、宮田圭子、三好 仁

(4) 表彰：古典の日推進委員会ホームページにおいて結果発表

「古典の日フォーラム2015」にて受賞作品を朗読

③共催、後援、ロゴ・シンボルマークの使用許可申請数(平成28年3月31日現在)

◆後援：33件

◆共催：3件

◆ロゴ・シンボルマーク：27件

④「古典の日」普及・推進活動及び広報活動等

1) ホームページ

今年度のアクセス数は、平成28年3月31日現在、57,433件

2) 媒体広告

(1) デジタルサイネージ (JR京都駅西口、東口 9月)

(2) 週間トマト&テレビ京都 (9月5日)

(3) 京都新聞 (8月29日、9月5日夕刊)

(4) 京都新聞「一日版」(11月1日(日)朝刊)

(5) 京都新聞、読売新聞、産経新聞 (11月2日朝刊)

3) 関係機関広報ツール

(1) 府民だより

(2) 京都市民しんぶん

(3) 宇治市政だより

(4) 文化庁関西元気文化圏ホームページ (文化カプロジェクトサイト)

## 2 琳派400年記念事業

平成26年6月、京都府、京都市、京都商工会議所とともに委員会を立ち上げた「琳派400年記念祭」は平成27年にいよいよ本番を迎え、秋の「大琳派祭」を中心に、年間を通して関連する美術展や物産展等の振興を図り、総合的な広報事業を実施した。

①琳派400年記念古典の日フォーラム2015【再掲】

1 開催日時 平成27年11月1日(日) 13:00~16:35

2 開催場所 国立京都国際会館メインホール

3 参加者 1,765名

4 概要

- 狂言「神鳴」 茂山逸平ほか
- 主催者挨拶 古典の日推進委員会会長村田純一  
京都府副知事山下晃正  
京都市長門川大作  
宇治市長山本正
- 第7回古典の日朗読コンテスト大賞受賞者による作品朗読  
(坂戸咲野・岡田八千代)
- 連続講演「古典と私」
  - ①「冷酒と古典は後で効く」 山田五郎(評論家)
  - ②「海外で学ぶ古典の心」 彬子女王殿下
- 琳派400年記念「日本の美宣言」 藤原紀香(京都国立博物館文化大使)
- パネルディスカッション「琳派とジャポニスム」  
パネリスト 彬子女王殿下、高階秀爾(大原美術館館長)、  
山田五郎(評論家)  
コーディネーター: 河野元昭(京都美術工芸大学学長)



5 主催: 古典の日推進委員会、琳派400年記念祭委員会

6 共催: NHK京都放送局、国立京都国際会館

7 後援: 京都国立博物館、京都新聞

8 入場料: 無料

## ② 琳派400年記念祭「国際シンポジウム」の開催

1 開催日時 平成27年11月2日(月)  
午後1時30分~4時45分

2 開催場所 国立京都国際会館 RoomA

3 参加者 700名

4 概要

- オリジナル雅楽演奏 東儀秀樹(雅楽師)  
「琳派にイメージを受けて」、「越天楽幻想曲」、「ハナミズキ」  
「誰も寝てはならぬ」
- 主催者挨拶 芳賀徹琳派400年記念祭呼びかけ人代表
- 連続講演
  - ①「ジャポニスムと琳派の魅力ーRimpa in the West」



- ジョン・カーペンター（メトロポリタン美術館日本美術キュレーター）
- ②「RIMPAの里帰りー浅井忠、神坂雪佳とモダンデザイン」  
クリストフ・マルケ（日仏会館・フランス日本研究センター所長）
- ③「フランス人工芸家から見た琳派の美」  
マニュエラ ポール・キャバリエ（工芸作家）
- ④「コシノジュンコの世界」  
コシノジュンコ（ファッションデザイナー）
- ・パネルトーク「世界がたたえる琳派の美」  
パネリスト 山下裕二（明治学院大学教授／美術評論家）  
芳賀徹（静岡県立美術館館長）  
コーディネーター 河野元昭（京都美術工芸大学学長）
- 5 主催 琳派400年記念祭委員会、古典の日推進委員会
- 6 共催 国立京都国際会館
- 7 協賛 アンスティチュ・フランセ関西、白沙村荘橋本関雪記念館
- 8 後援 京都国立博物館

③ 琳派400年記念「国際シンポジウム」（トークイベント）の開催

- 1 開催日時 平成27年11月3日（火）午後2時～4時
- 2 開催場所 京都国立博物館 平成知新館講堂
- 3 参加者 200名
- 4 内容

・主催者挨拶 佐々木丞平（京都国立博物館館長）

・パネルトーク

「琳派この一作～私の見方・楽しみ方」

パネリスト 井浦新

（俳優／京都国立博物館文化大使／日本美術応援団団員3号）

クリストフ・マルケ（日仏会館・フランス日本研究センター所長）

ジョン・カーペンター（メトロポリタン美術館日本美術キュレーター）

辻惟雄（MIHO MUSEUM研究顧問／MIHO MUSEUM前館長）

コーディネーター 山下裕二（明治学院大学教授／日本美術応援団団長）

総合司会 伊藤嘉章（京都国立博物館副館長）

- 5 主催 琳派400年記念祭委員会、京都国立博物館、古典の日推進委員会



④ 琳派400年記念ワークショップ「描こう！僕とわたしの風神雷神」の開催

- ・日時 平成27年11月3日（火）午前8時30分～12時
- ・会場 京都国立博物館 平成知新館講堂



- ・参加者 京都市立東山泉小学校小学6年生 23名

【内容】

- ・宗達・光琳・抱一の風神雷神図屏風を鑑賞
- ・小学生による風神雷神の作画
- ・講評  
上村淳之（日本画家）  
久谷政樹（イラストレーター）

⑤大学生が創る琳派映像作品の制作

- ・琳派映像作品の制作  
京都精華大学、京都美術工芸大学、京都嵯峨芸術大学  
京都造形芸術大学、京都市立芸術大学、京都工芸繊維大学  
上映（TOHOシネマズ二条）

⑥秋の「大琳派祭」スタンプラリーの開催

琳派ゆかりの地、イベント会場に設置した異なる3箇所のスタンプを押印の上、応募。

- ・開催期間 平成27年10月10日（土）～11月23日（月・祝）
- ・スタンプ設置場所  
光悦寺、常照寺、本法寺、妙顯寺、三千院、建仁寺、養源院、仁和寺、善峯寺、醍醐寺、京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都府立堂本印象美術館、元離宮二条城（10/23～）、京都市考古資料館（～11/1）、京都伝統産業ふれあい館、京都国際マンガミュージアム（～11/3）、細見美術館、美術館「えき」KYOTO（10/23～）、樂美術館、岡田美術館
- ・賞品提供企業一覧  
京都府立府民ホールアルティ、細見美術館、樂美術館、京都商工会議所、株式会社淡交社、一布や、株式会社永楽屋、株式会社エレファント、唐長11代目工房、株式会社京都西川、一般社団法人匠文化機構、京友禅アロハシャツ&カットソーPagong、株式会社便利堂、宮井株式会社、京都国立博物館、株式会社大石天狗堂、任天堂株式会社、サントリー酒類株式会社京都支店、キンシ正宗株式会社、齊藤酒造株式会社、株式会社増田徳兵衛商店、株式会社祇園辻利、株式会社聖護院ハッ橋総本店、株式会社俵屋吉富、株式会社七條甘春堂、株式会社野村佃煮、ウェスティン都ホテル京都、京都ホテルオークラ、グランドプリンスホテル京都、ハイアットリージェンシー京都、ホテルグランヴィア京都
- ・応募総数  
2,313通の応募がありました。

[内訳] 京都府内 888 通、近畿地方（京都を除く）672 通、北海道 14 通、関東地方 367 通、中部地方 216 通、中国地方 48 通、東北地方 36 通、四国地方 31 通、九州地方 40 通、アメリカ 1 通



⑦ 「琳派 400 年記念祭」 広報

- ポスター、各種冊子による広報
- 大型懸垂幕掲出
- 新聞全面広告（6月2日 京都新聞）  
（9月1日 京都新聞）  
（11月16日 京都新聞）
- イベントガイド初夏号、秋号の発行
- 大琳派記念うちわの作成
- ホームページの掲載



⑧ 「ミラノ国際博覧会」 への出展事業

平成 27 年5月からイタリア・ミラノで開催された



国際博覧会日本館への京都府、京都市、京都商工会議所の出展（6月7日～11日）に併せ、琳派400年記念祭のPRを実施し、琳派の国際的な高評価を活かして京都出展全体の発信力向上を図った。

- ・俵屋宗達作「風神雷神図屏風」のパネル展示
- ・尾形光琳作「燕子花図屏風」をモチーフとしたデジタルアートの上映
- ・日本酒PRと併せた琳派のお猪口の展示、レセプションでの配布

⑨平成27年「関西元気文化圏賞」受賞

平成27年1年間に、文化を通じて、関西から日本を明るく元気にすることに貢献した人・団体に対して、一層の活躍を期待して表彰する「関西元気文化圏賞」の特別賞を琳派400年記念祭委員会が受賞した。  
（平成28年1月21日）



⑩琳派四百年記念祭公式記録「花ひらく琳派」の発刊

- ・発行所 京都新聞出版センター
- ・監修 琳派四百年記念祭委員会
- ・内容 (章立て)
  - 第1章 琳派400年の系譜 榊原吉郎
  - 第2章 琳派が讃えた「徳川の平和」芳賀徹
  - 第3章 [ドキュメント]琳派400年記念祭
  - 第4章 私の琳派
  - 第5章 めぐり合う琳派 河野さん、藤野さんと学ぶ
  - 第6章 琳派ゆかりの地を訪ねる

## 2 京都迎賓館支援事業

### (1) 京都迎賓館でもてなした外国賓客 計 9 件

- ① ミャンマー連邦共和国大統領一行 平成 27 年 7 月 5 日
- ② イタリア共和国首相夫妻一行（日程の関係で竹茂楼にて接遇） 8 月 4 日
- ③ フランス共和国首相夫妻一行 10 月 3 日～4 日
- ④ スリランカ民主社会主義共和国首相夫妻一行 10 月 4 日
- ⑤ 日中韓保健大臣会合 11 月 28 日～29 日
- ⑥ リトアニア共和国国会議長 平成 28 年 3 月 3 日～5 日
- ⑦ ノルウェー王国国会議長 3 月 5 日～6 日
- ⑧ フィンランド共和国大統領夫妻一行 3 月 8 日
- ⑨ ジンバブエ共和国大統領夫妻一行 3 月 30 日

#### <過去の接遇件数>

年 度	18	19	20	21	22	23	24	25	26
接遇件数	8	11	15	9	10	10	12	5	7

### (2) もてなし・しつらいプロデュース事業

京都迎賓館における賓客接遇等の際、しつらいの一つとして活用するいけばな文化の継承・発展のためいけばな協会への支援を行った。

また、迎賓館の賓客接遇に際して、京都府京都文化博物館、京都市美術館、京都府立堂本印象美術館等のご協力により、地元美術工芸品の借用を行った。

### (3) 京都迎賓館参観支援事業

ア 期 間：平成 27 年 8 月 2 日（土）～8 月 11 日（火）

イ 参観者：10,860 名 ※8 月 1 日参観リハーサル参観者（919 名）を含む。

ウ 支援事業

(ア) ボランティアの紹介

京都文化振興友の会、京都市文化ボランティア、京都検定協力会から、京都迎賓館参観運営スタッフとしてボランティアを募集し、89 名を派遣した。

(イ) いけばなのしつらい

場所：正面玄関、聚楽の間、藤の間前 提供：京都いけばな協会

(ウ) 迎賓館パンフレットの提供

京都迎賓館の伝統技能を紹介したパンフレットを 13,500 部製作・提供

(エ) 宇治茶の提供（有料） 提供：京都府茶協同組合

(オ) 京都観光・文化情報コーナーを設置し、府、市、商工会議所等の資料を配布。

#### (4)「京都迎賓館シンポジウム」の開催

- ア 開催日：平成27年5月24日（日）
- イ 会場：東京・イイノホール（東京都千代田区）
- ウ 参加者：450名
- エ 概要

##### ◇文化披露

芸舞妓による舞踊披露（上七軒歌舞会）

##### ◇基調講演

テーマ 「京都迎賓館の開館10周年を記念して」

講師 安藤 昌弘氏（元 内閣府迎賓館館長）

##### ◇パネルディスカッション

テーマ 「京都のおもてなしの技とところ 世界へ」

コーディネーター 中村 昌生氏（京都工芸繊維大学 名誉教授）

パネリスト 池坊 由紀氏（華道家元池坊次期家元）

高橋 英一氏（京料理「瓢亭」第14代当主）

森田りえ子氏（日本画家）



### 3 京都創生フォーラム事業

#### (1) 運営委員会・連絡会の開催

##### ①第13回運営委員会

ア 日時：平成27年4月27日（月）午後2時～3時30分

イ 場所：京都商工会議所 第3会議室

ウ 議事：平成26年度の活動について（報告）

平成27年度の活動について（提案）

各運営団体の京都創生に関する取組について（情報交換）

##### ②第15回連絡会

日時：平成27年7月28日（火）午後1時30分～2時30分

場所：京都商工会議所 3F 第2会議室

議事：シンポジウム京都創生推進フォーラムの開催について

## (2) シンポジウムの開催

ア 日 時：平成27年8月7日（金）

午後1時30分～4時30分

イ 会 場：国立京都国際会館 アネックスホール

ウ 参加者：600人

エ プログラム

- ・狂言「鬼瓦」 茂山茂、島田洋海
- ・挨拶 立石義雄（京都創生推進フォーラム代表・京都商工会議所会頭）  
門川大作（京都市長）
- ・基調講演 青柳正規（文化庁長官）
- ・パネルディスカッション  
テーマ 「世界の文化首都・京都の役割」  
パネリスト 青柳正規（文化庁長官）  
デービッド・アトキンソン（(株)小西美術工芸社代表取締役社長／京都国際観光大使）  
片山九郎右衛門（公益社団法人 京都観世会会長 観世流能楽師）  
竹宮恵子（京都精華大学学長／漫画家）  
樂吉左衛門（陶芸家／樂家十五代）
- コーディネーター 宗田好史（京都府立大学 生命環境学部教授）

## (3) 京都創生連続セミナーの開催

### ①第24回セミナー

ア 日 時：平成27年12月19日（土）

午後2時～4時

イ 会 場：キャンパスプラザ京都 第2講義室

ウ 参加者：140人

エ テーマ：「写真で見る京都創生～美しき日本の京都」

オ 講 師：中田 昭（写真家）

## (4) 京都創生PRの実施

### ① 京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」

発行時期：第25弾 平成27年12月15日発行

第26弾 平成28年3月29日発行

仕 様：B1判・B2判・B3判・B3ワイド判

発行部数：5,000部

配 布 先：全ての市バス・地下鉄の車両、地下鉄全駅、市内の私鉄駅、市内金融機関、市内郵便局、市関連施設、市内ホテル、市内の大学構内、首都圏の旅行代理店、京都に修学旅行を予定する全国の小中学校・高校、「京あるき in 東京」の参画企業店舗など

② 京都市交通局と協働でポスター図案を用いたカードを発行

・第25弾 平成28年2月6日発行 地下鉄1 day フリーチケット（15万枚）



第25弾（蹴鞠はじめ）



第26弾（伊藤若冲）

③ 広報誌「京都創生」第13号・第14号

発行時期：第13号：平成27年12月25日

第14号：平成28年 3月31日

仕 様：A4版4頁

発行部数：8,500部

配 布 先：京都創生推進フォーラム会員・京都府及び京都市関係機関・運営団体等

(5) 「京都創生連続講座 in 東京」の実施

ア 日 時：平成28年2月17日（水）

第1部 午後1時30分～4時30分

第2部 午後5時30分～7時30分

イ 会 場：野村コンファレンスプラザ日本橋 大ホール

ウ 参加者：第1部340名・第2部270名

エ プログラム

第1部 京町家・東京シンポジウム

## 「あなたといきる京町家」

### (前半) トークイベント

- 京都創生の取組報告 船木康司 (京都市京都創生課長)
- 京町家の現状、「京町家まちづくりファンド」の取組紹介  
上原智子 (公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター事務局次長)
- 「ハッ橋の歴史と京文化」  
杉野善彦 (株)井筒ハッ橋本舗代表取締役社長)

### (後半) パネルディスカッション「京町家の魅力と継承」

- パネリスト 細尾真生 (株)細尾代表取締役社長、京都経済同友会副代表幹事)  
若村亮 (株)らくたび代表取締役)  
山中琢人 (株)フージャースコーポレーション京都支店支店長)

コーディネーター 大場修 (京都府立大学大学院教授、京町家まちづくりファンド委員会委員長)

## 第2部 京都創生シンポジウム「文化首都・京都の魅力」

- 京都創生の取組報告 船木康司 (京都市京都創生課長)
- パネルディスカッション「文化首都・京都の魅力」

- パネリスト 佐々木丞平 (京都国立博物館館長)  
真野響子 (女優)  
藪内佐斗司 (彫刻家、東京藝術大学大学院教授)

コーディネーター 宗田好史 (京都府立大学 生命環境学部教授)

(6) 京都創生 PR 事業「京あるき in 東京2016～恋する京都ウィークス～」の実施  
京都市・京都商工会議所・京都市観光協会とともに、第6回目となる「京あるき in 東京」を実施した。

①概要 京都ゆかりの企業・大学・団体の参画のもと、首都圏で京都の魅力を発信する催しを集中的に実施。

②期間 平成28年2月13日(土)～3月13日(日)

③事業数 119 (前回:120)  
参画企業、大学、団体数213 (前回:205)

⑤京都創生推進フォーラムの活動内容

「京都創生連続講座 in 東京」の実施 (再掲)

「国家戦略としての京都創生」のPRパネル展示

京都創生パンフレットの配布

(7) 京都創生推進フォーラムホームページによる情報発信

シンポジウム等の情報を伝えるとともに、今後の開催案内等の活動情報も随時掲載。



また、各会員の活動情報を紹介するほか、新規会員の募集・登録も行っている。  
その他、広報誌やポスターなどの広報物を紹介。

#### (8) 京都創生フォーラム会員管理

会員数	企業・団体	個人	合計
期首	428	384	812
減少	4	8	12
増加	3	40	43
期末	427	416	843

入会は、ホームページやフォーラムへの参加を通じて行う。退会は、本人逝去や事務所閉鎖等による。

#### (9) 「京都創生」の大学生への働きかけ

「京都創生」の取組について、若い世代への周知を図るため、大学等と連携した取組を実施

##### ① 同志社大学大学院総合政策科学研究科「都市政策論研究」

- ・日時 平成27年4月7日（火）
- ・場所 同志社大学大学院
- ・対象 「都市政策論」受講生 8人
- ・内容 ・京都創生の取組について

##### ② 京都橘大学現代ビジネス学部

- ・日時 平成27年6月6日（土）
- ・場所 京都産業会館、京都芸術センター
- ・対象 約70人
- ・内容 ・京都芸術センター見学  
・中野恭心（京都いけばな協会会長）による講演

##### ③ 京都橘大学

- ・日時 平成27年6月16日（火）
- ・場所 京都橘大学
- ・対象 約200人
- ・内容 ・京都創生の取組について

##### ④ キャンパスプラザ京都単位互換科目

「歴史都市京都の文化と観光—京都検定への誘い—」

- ・日 時 平成27年8月8日（土）
- ・場 所 キャンパスプラザ京都
- ・対 象 100人
- ・内 容 京都創生の取組について

⑤ 立命館大学産業社会学部（専門特殊講義Ⅱ）

- ・日 時 平成27年12月3日（木）
- ・場 所 立命館大学衣笠キャンパス
- ・対 象 200人
- ・内 容 ・京都創生の取組について

⑥ 京都女子大学

- ・日 時 平成27年12月18日（金）
- ・場 所 京都女子大学
- ・対 象 60人
- ・内 容 ・京都創生の取組について

## II 国際観光コンベンション事業（公益目的事業）

### 1 コンベンション(MICE)事業

平成27年の京都での国際会議開催実績は、京都市域で213件、それ以外の京都府域で12件を記録し（重複1件があるため合計224件）、昨年に引き続き、過去最高となった。

また27年度には、第25回世界博物館大会（2019年、2,500人参加見込み）、第5回国際組織工学・再生医療学世界会議（2018年、2,500人参加見込み）、国際アルツハイマー病協会国際会議（2017年、4,000人参加見込み）、第19回国際動脈硬化学会議（2021年、4,000人参加見込み）、第17回国際婦人科腫瘍会議（2018年、3,000人参加見込み）等の大型国際会議の京都開催が決定した。

#### （1）プロモーション事業

##### ① 海外プロモーション活動

[IMEX in Frankfurt 2015 出展]

JNTO 他 21 団体と共同で IMEX in Frankfurt 2015 に出展。

開催期間：平成27年5月19日～21日

開催場所：ドイツ・フランクフルト

規 模：出展者数 3,500 以上（団体・企業）

ホステッド・バイヤー(招待客) 3,952名

その他の来場者数 4,900 名以上

[IBTM World 2015 出展]

JNTO 他 21 団体と共同で IBTM World 2015 に出展。

開催期間：平成27年11月17日～19日

開催場所：スペイン・バルセロナ

規 模：出展者数 2,800 以上（団体・企業）

ホステッド・バイヤー(招待客) 3,925名

その他の来場者数 4,790 名以上

※2015年開催実績は未公表につき、上記数値は2014年開催実績

[AIME (Asia Pacific Incentives & Meetings Expo) 2016 出展]

JNTO 他 13 団体と共同で AIME 2016 に出展。

（平成28年2月23日～24日 オーストラリア・メルボルン）

開催期間：平成28年2月23日～24日  
開催場所：オーストラリア・メルボルン  
規模：出展者数 523（団体・企業）  
ホステッド・バイヤー（招待客） 340名  
その他の来場者数 4,888人

## ② 国内プロモーション活動

[IME2015出展]

「第25回国際ミーティング・エキスポ IME2015」に出展。賛助会員から公募の結果、下記のとおり多様な業種による出展体制により、東京圏の会議主催者等に対して Team Kyoto による一体的なプロモーションを展開した。

開催期間：平成27年12月9日～10日

開催場所：東京国際フォーラム

規模：来場者数 1,993名 出展関係者 1,448名（147団体・企業）

京都ブース構成団体

京都文化交流コンベンションビューロー、  
国立京都国際会館、京都テルサ、京都パルスプラザ  
みやこめっせ、京都リサーチパーク、  
東映太秦映画村、Kiyomizu 京都東山、お茶屋富菊、  
京都ハンディクラフトセンター、ワックジャパン、  
二条城、ホテルグランヴィア京都、響映



## (2) 開催支援事業

### ① 政府関連特定会議等の京都開催の運営協力

[第12回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム)]

平成27年10月に開催された「第11回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム)」について、京都府・京都市・京都商工会議所と共同で同フォーラム支援実行委員会を組織し、開催支援を行った。



公開シンポジウム

平成27年10月3日 京都商工会議所講堂

歓迎レセプション

平成27年10月5日 元離宮二条城

京都エクスカースョン

平成27年10月5～6日 2コース計 33名参加

## ② 京都スマートシティエキスポ 2015 への運営協力

京都国際会館及びけいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）において、平成 27 年 5 月に開催された京都スマートシティエキスポ 2015, 及び平成 28 年 6 月開催予定の京都スマートシティエキスポ 2016 年について、準備委員会や運営協議会、事業者選定会議など積極的に京都府担当課と連携を行い、また、レセプションにおける芸舞妓の舞踊等に関する助成金支出等の開催後方支援を行った。

## ③ 第 5 回世界工学会議への運営協力

平成 27 年 11 月 29 日～12 月 2 日の会期中、国立京都国際会館の会場内において、「京都伝統産業ふれあい館」及び京都府農林水産部農産課の協力を得て、伝統工芸品と農産加工品等の販売ブースを運営。

## ④ ユニークベニュー・レセプション等の企画・提案

開催地ならではのユニークな施設・会場(ユニークベニュー・レセプション)の企画・提案を積極的に行った。またインバウンド課の事業と連携し、共同でユニークベニュー開発に取り組むことによって新たな施設との連携が強化された。

[ユニークベニュー・レセプション会場(主な事例)]

- ・社寺(大覚寺, 建仁寺, 高台寺, 東福寺, 平安神宮, 醍醐寺, 青蓮院將軍塚 等)
- ・東映太秦映画村      ・ハウスウェディング施設      ・料亭
- ・京都国立博物館      ・京都水族館      ・二条城      ・京都鉄道博物館

## (3) 各種会議支援サービス制度の運用状況等

### ① 助成金

#### (7) 京都市大規模国際コンベンション開催支援助成金の活用

[申請案件(平成 27 年度申請(認定)分)]

会議名	参加者	開催予定年度	認定額 (万円)
日本地球惑星科学連合 2017 年大会	8,000 人	平成 29 年度	300
第 32 回アツマイマ-国際病協会国際会議	4,000 人	平成 29 年度	400
第 8 回パワーエレクトロニクス国際会議	800 人	平成 30 年度	150
第 27 回液晶国際会議	800 人	平成 30 年度	200
第 17 回国際婦人科腫瘍会議	2,000 人	平成 30 年度	300
第 50 回国際小児がん学会	2,500 人	平成 30 年度	400

第 10 回国際ペプチドシンポジウム	850 人	平成 30 年度	300
第 5 回国際組織工学・再生医療学世界会議	2,500 人	平成 30 年度	400
第 33 回国際てんかん学会	4,000 人	平成 31 年度	400
第 19 回国際動脈硬化学会	3,000 人	平成 33 年度	400
第 11 回国際小児内分泌学会	2,500 人	平成 33 年度	300

(イ) 京都市大規模国際コンベンション誘致支援助成金の活用

[申請案件(平成 27 年度申請・交付分)]

会議名	参加者	開催予定年度	交付額(万円)
第 19 回国際動脈硬化学会	3,000 人	平成 33 年	83
第 5 回国際組織工学・再生医療学世界会議	2,500 人	平成 30 年	100
第 11 回国際小児内分泌学会	2,500 人	平成 33 年	10.8

(ロ) 京都市中・小規模 MICE 開催支援助成金の活用

利用件数：26 件 支援金額：3,625,000 円

(ハ) 京都市「京都らしい MICE 開催支援補助制度」の活用

利用件数：87 件（うち伝統産業 21 件，文化体験との併用含む）

支援金額：20,894,822 円（うち伝統工芸品購入 4,314,273 円）

② その他の支援サービス（カッコ内は 26 年度実績）

(ア) 京都コンベンション・パス(地下鉄・市バス特別乗車券)の発行

利用件数：4 件（2 件）発行金額：1,321,600 円（2,868,000 円）

(イ) 京都コンベンション・フォトバンクの活用

利用件数：59 件（28 件）

(ロ) 公開シンポジウム等広報支援制度

利用件数：3 件（7 件）

(ハ) 京都コンベンション・ウェブ・データ貸出制度

利用件数：2 件（2 件）

(ニ) 誘致プレゼンテーション用パワーポイント・データ貸出制度

利用件数：5 件（9 件）

(ホ) 京都開催 PR 用バナー貸出制度

利用件数：4 件（4 件）

(キ) プロモーションDVDの貸出・提供

利用件数 : 5件 (14件)

(ク) 京都市 MICE デスティネーション PR 映像の貸出・提供

利用件数 : 25件 (7件)

(ケ) 会議開催準備資金の無利息融資

融資件数 : 1件 (0件)

(コ) 各種広報印刷物等の提供

利用件数 : 154件 (135件)

京都観光案内地図(日英併記) 提供部数: 44,880部 (39,970部)

おこしやす京の旅路(和文が1冊) 提供部数: 18,841部 (16,825部)

Kyoto Tourist Guide(英文が1冊) 提供部数: 16,596部 (15,715部)

京都案内リーフレット(英文7万冊) 提供部数: 4,475部 (4,820部)

京都案内小冊子(和文) 提供部数: 2,251部 (2,520部)

その他 Kyoto Visitor's Guide

京都コンベンション施設ガイド(日本語版)

Kyoto Meeting Planning Guide(英語版)

京都 PR 用ピンバッジ・絵はがき・ポスター等

#### (4) 広報宣伝事業

##### ① ホームページによる京都における MICE 関連情報の発信

国内外の MICE 主催者・参加者に対し、MICE 開催都市「京都」の情報発信を行うため、世界中の国際会議や国際学会の主催者や事業者、加えて京都市内の大学関係者の皆様の利便性向上を図った。

##### ② ユニークベニューガイドの作成

数多くの世界遺産が位置する京都において、これら世界遺産を初めとするユニークな会場を国際会議のレセプションに利用できる点は、国際会議誘致における京都の大きなセールスポイントとなっている。このため、わかりやすくこれらの施設を紹介し会議セールスに活用するための、ユニーク・ベニューに特化した PR 冊子を作成した。

#### (5) MICE 関連情報の調査・収集・検討

##### ① 情報の収集

観光庁、日本政府観光局(JNTO)、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)、ICCA(International Congress and Convention Association 国際会議協会)をはじめ関係団体との積極的な交流を図り、MICE 関連情報の収集に努めた。また各種の海外見本市への参加等を通じて国際的な MICE プレーヤーとのネッ

トワーク強化と情報収集を図った。

## ② 京都大学との協力による国際会議推進

「京都市と京都大学との国際学術都市としての魅力向上に関する連携協定書」（平成 27 年 8 月締結）に基づき、京都大学との間で国際会議の推進に関する協議を行っている。試行的に平成 28 年 1 月から 3 月まで京都大学時計台内に学会開催等に関する相談窓口を毎週 1 回設置、研究者等からの相談に対応、会議情報を収集・分析。また、各学部の教授会や、研究支援組織の会合等、様々な機会を捉えて、支援施策の PR を行うとともに情報収集に努めている。

## ③ 京都府警との連携

府警本部警備部と当ビューローの間で平成 27 年 3 月に締結した「京都をテロから守る連携協定」に基づき、安心して参加できる国際会議都市・京都のステイタスを維持するため情報交換を行い、また平成 28 年 3 月 1 日開催のゼスト御池地下街におけるテロ対策訓練の実施等について協力を行った。

## ④ 統計調査・発行

国際会議統計「2015 京都で開催された国際会議」発行



## 2 国際観光プロモーション事業

### (1) 重点市場に於けるインバウンドマーケティング事業

#### 海外情報拠点管理運営事業

ニューヨーク、台北、ソウル、上海、シドニー、パリ、ロンドン、フランクフルト、香港、ドバイに拠点レップ窓口を設置し、京都の旬の情報を毎月発信するとともに、現地マーケティング活動を年間通じて実施。また、各拠点担当者が一堂に会しての市場説明会を平成 27 年 5 月に開催した。

### (2) 特定市場/ターゲットに対するインバウンドマーケティング事業

#### ① 海外富裕層市場への取組事業

ラグジュアリー層を対象としたイベントとして最も影響力のあるイベントであるインターナショナル・ラグジュアリー・トラベル・マーケット (ILTM) に出展・参画した。

- ・ILTM Canne (フランス：カンヌ) 平成 27 年 12 月 1 日～4 日
- ・ILTM Japan (日本：東京・京都) 平成 28 年 2 月 29 日～3 月 4 日

#### ② 新規市場への取組

今後の訪日拡大が見込まれるムスリム市場向けの事業を展開した。

- ・ムスリム観光客向けウェブサイトの運営
- ・市内事業者と連携したハラール対応レストランや礼拝スペースの整備推進
- ・ドバイ・アラビアントラベルマーケットやマレーシア MATT 商談会への出展・参画
- ・UAE 旅行会社の招請 (平成 28 年 2 月 6 日～7 日)



#### ③ 伝統産業を活用した海外 PR 事業

京都市・フィレンツェ市姉妹提携 50 周年を記念し、伝統産業製品を活用した観光 PR 事業をイタリアのフィレンツェ市、ミラノ市で展開した。

#### ④ 京都市域内統計収集・分析強化

当ビューローが主体となり、京都市域のステークホルダーの協力を得て、営業状況や稼働状況等に関する定期的な統計調査を行った。（国籍別の宿泊状況を毎月調査 25 ホテル⇒30 ホテル）

また、世界最大のホテルデータサービス提供会社である STR グローバルと、日本の観光関連機関として初めて提携し、市内ホテルの客室平均単価（ADR）等の情報を国内外の主要都市と比較するなど、情報分析の精度を一層高めた。

### ⑤ マーケティング強化（ホテル誘致関連）

宿泊キャパシティ拡大の課題に取り組む糸口として、世界のホテル投資家が一堂に会する国際会議（アジア太平洋ホテル投資セミナー／HICAP@香港や JLL 不動産&ホテル投資フォーラム@東京）等に参加。また、国内外のホテルオペレーターやディベロッパーとも継続的にヒアリングや意見交換を実施した。

## （3） プロモーション・情報発信事業

### ① ウェブサイトの運用事業

日本国内の自治体で最多となる 13 言語で外国人観光客向けのウェブサイト「Kyoto Official Travel Guide」で観光情報を発信した。

使用言語：英語，フランス語，中国語・繁体字，中国語・簡体字，韓国・朝鮮語，ドイツ語，スペイン語，イタリア語，アラビア語，トルコ語，タイ語，マレー語，ロシア語

また、外国人観光客向けのオンラインでの観光イベントチケット購入環境の整備に向け、時代祭を対象に実証実験を行った。

### ② Facebook ページの運用事業

ソーシャルネットワークの最大手である Facebook に於いて「Visit Kyoto」ページを継続展開した。いいね数：30 万件⇒40 万件

### ③ 海外メディア取材誘致・露出強化事業

海外における有カメディア（新聞，雑誌，テレビ，ウェブサイト等）の招請，取材誘致・受入を実施。担当スタッフの増強を行うとともに，日本政府観光局（JNTO）や近畿運輸局，他都市や航空会社等と積極的な連携を図り，マーケット及び費用対効果を意識した PR 活動を展開した。併せて，京都のもつ映像コンテンツの供給についても，京都市メディア支援センターと共に実現性を探る取組を行い，タイなどで新たなテレビ番組などの立上げに寄与した。

### ④ アメリカ有力旅行雑誌で 2 年連続世界 1 位に選出

世界で最も影響力のある旅行雑誌のひとつ「ト



ラベル・アンド・レジャー」誌の読者投票「ワールドベストシティアワード」において京都が2年連続で世界一位に選出され、ニューヨークで開催された授賞式に出席した。また、同じくアメリカの「コンデ・ナスト・トラベラー」誌においても、アジア1位に選出された。

⑤ 海外における旅行博・商談会・セールスコール事業

賛助会員の参画も得て、以下の旅行博等に出展・参画した。

平成27年5月	UAE ドバイ	ATM
平成27年7月	フランス・パリ	JAPAN EXPO
平成27年9月	マレーシア	MATTA
平成27年9月	東京	VISIT JAPAN トラベルマート
平成28年3月	ドイツ・ベルリン	ITB

(4) 外国人旅行客受入体制構築支援事業

① 外国人観光客向け多言語コールセンター運営事業

外国人観光客の満足度向上とセーフティネットの構築等を目的に、24時間年中無休の多言語コールセンターを運営し、宿泊施設を対象に5言語による電話通訳サービスを提供した（京都府、京都市、滋賀県、大津市、奈良市との共同事業）。加えて、更なる多言語受入環境整備の一環として、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の多言語音声翻訳システム「VoiceTra(ボイストラ)」の技術を活用した翻訳アプリの開発協力や告知協力を行う。

② 外国語研修実施事業

飲食店や旅館業、小売店・伝統産業の従事者を対象に、初心者向け外国語研修を実施した（英語6回・中国語4回）。

③ コンテンツ研究会開催事業

京都における旅行商品化の可能性を有するクオリティの高いコンテンツ（伝統産品や工芸品事業者など）の受容性を検証するために、当該事業者と観光事業者のネットワーキングの場を設け、意見交換会等を図った。また、これまでの訪問施設を紹介する冊子を作成し、旅行商品プランナー等に配布。

訪問先：ファイヤーラーメン、英語落語、京都伝統産業ふれあい館、ロームシアター京都、鉄道博物館



④ 免税対応支援事業

多言語コールセンターによる電話通訳サービスの提供やセミナーの開催、メルマガの配信など、多岐にわたる免税店支援事業を継続展開するとともに、免税店情報を掲載した冊子「KYOTO Tax Free Shopping Book」（英語・中国語）を新たに作成した。また、中国語ネイティブスタッフを採用し、増加する中国人観光客向けの対応を強化した。



＜京都市内の免税店数＞

平成 26 年 4 月現在 178 件

平成 27 年 10 月現在 1,012 件（約 6 倍増）。

⑤ クレジットカードの買い物環境整備支援事業

大手クレジットカード会社「ビザ・ワールドワイドジャパン」と連携し、京都オリジナルのアクセプタンスマークを作成するとともに、平成 28 年 2 月、免税店やレストラン等を対象に観光消費増大キャンペーンを実施した。



⑥

2月の1か月限定で企画されるグルメイベント「京都レストランウィンタースペシャル」に参画。7回目を迎える今回は、初めて英語版のパンフレットを作成するとともに参加飲食店向けに電話通訳サービスを提供した。





### ⑦ マナー啓発事業

生活習慣の違いから生じる外国人観光客のマナー問題を啓発するため、世界最大の旅行情報サイト「トリップアドバイザー」と連携し、イラストを活用したリーフレット（英語・中国語）を作成し、関西空港や空港リムジンバスのほか、市内各所で配布した。また、免税小冊子においてもマナー啓発のコラムを掲載するとともに、ウェブサイトにおいても、Kyoto-WiFi のアクセス時に周知するなど、発信を強化した。



### ⑧ 京都市認定通訳ガイド育成事業

京都観光の専門知識を身に付け、外国語で京都の奥深い魅力を伝えることができる京都市独自の通訳ガイド「京都市ビジターズホスト」の育成事業を実施した。第1期生には555名の応募があり、書類・面接審査を経て、59名が研修受講生に決定。基礎・専門研修、口述試験ののち、平成28年8月に認定予定。なお、今後は本事業で育成された通訳ガイドを含め、次年度以降の募集者には京都検定2級取得を義務付ける方向で調整中。



### ⑨ 訪日客向けWi-Fi環境整備推進事業

ワイヤードワイヤレス社（KDDI系列）が進める訪日客向け全国無料Wi-Fiアプリ「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」の普及を支援した。本事業は「Kyoto Wi-Fi」事業と連動しており、Kyoto-WiFi 利用促進及び利用実績分析などの試験的取組も併せて行った。

### Ⅲ その他の事業（公益目的事業）

#### 1 ホームページの運用

ホームページに「What's NEW」のコーナーを設け、当ビューローからの最新情報や関連行事等のタイムリーな情報の提供に努めた。

#### 2 会報誌「京都文化交流コンベンションビューロー通信」発行

- ア 仕様：A4版、4頁（オールカラー）
- イ 作成部数：1,000部
- ウ 発行回数：年4回（4月、7月、10月、1月）
- エ 配付先：賛助会員・関係団体 ほか

#### 3 関係団体との連携等

##### （1）「京都花灯路」・「京の七夕」への参画

関係団体と連携し、「京都花灯路」や「京の七夕」へ主催者団体や実行委員会の一員として参画し、地元京都の観光振興に取り組んだ。

##### ①嵐山花灯路

平成27年12月11日（金）～20日（日）

来場者数：139万3千人（今回11回目の開催）

##### ②東山花灯路

平成28年3月12日（土）～21日（月・振休）

来場者数：116万5千人（今回14回目の開催）

##### ③京の七夕

平成27年8月1日（土）～10日（月）（今回6回目の開催）

来場者数：76万2千人

##### （2）時代祭におけるメッセージ発信

「平安建都1300年に向けて」というメッセージを書いた横断幕を持つ行列の先頭役を担った。行進者は賛助会員から募集し、その協力を得た。

## IV 共益・収益事業

### 1 賛助会員制度の運営

#### (1) 新規勧誘の促進

当ビューローの設立趣旨及び事業等に対する理解者・支援者の拡大を図るため、新たな賛助会員の加入促進に努めた。

#### ア. 新規加入会員（41社51口）

会 員 名
アヤベックス株式会社
株式会社エーワン
株式会社シー・ディー・アイ
株式会社ラフェスタ
株式会社ヒト・コミュニケーション
ホテルマイステイズ京都四条
株式会社アール・プロジェクト・インコーポレイテッド
株式会社梅守本店
リコージャパン株式会社 関西事業本部 京都支社
ホテルカンラ京都（UDS株式会社）
エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社
株式会社大丸松坂屋百貨店 大丸京都店
茶道体験カメリア
株式会社エムアンドエムサービス
一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会
有限会社コア
イオンモール株式会社 イオンモール京都
旅館元奈古
片山文三郎
株式会社JTBビジネスイノベーターズ
株式会社オリジナルボックスかもがわ
株式会社エイジェクスコミュニケーションズ
一般社団法人みんなの外国語検定協会
株式会社おもてなし京都
きょうと和み館

損害保険ジャパン興亜(株)
株式会社Yourbility Developers
株式会社日の出興産
株式会社プレメーズ（京都和食レストラン美ね寅）
ピザ・ワールドワイドジャパン株式会社
黄桜株式会社
株式会社ぐるなび
ノク京都(Roxy-kyoto Hotel合同会社)
PAVILION COURT(株式会社京都山中商会)
加地金欄株式会社
バリウマリゾート株式会社 (AKAGANE RESORT KYOTO HIGASHIYAMA 1925)
Tea Ceremony Koto
株式会社ディー・メイクス
株式会社エアサーブ
株式会社コンセント

イ. 退会会員（9社100名）

会 員 名
ACプランニング
リノホテル京都
浄敬庵
武田病院グループ
野崎印刷紙業株式会社
京都第二タワーホテル
株式会社ICSコンベンションデザイン
株式会社MeetUs（ミータス）
株式会社プロスパー・コーポレーション

< 賛助会員数の推移 >

年度別	会員数	□数
平成20年度末	264	384
平成21年度末	257	374
平成22年度末	255	367



平成23年度末	244	356
平成24年度末	289	507
平成25年度末	297	517
平成26年度末	337	562
平成27年度末	370	601

## (2) 会員に対する情報提供やサービス事業の実施

文化交流発信及びMICE・インバウンド推進に関連する、有効な情報の提供・斡旋・紹介等、また、共同プロモーション事業の実施、各種コンサルティング等会員企業へのサービス事業を実施した。

## (3) 「会員の集い」の開催

京都のMICE・インバウンド関連業界の連携を図り、産学公オール京都の力を結集して、MICE及びインバウンドの誘致・誘客・振興の取組がより円滑に実施できるよう、情報交換と会員相互のネットワーク強化を図るため「会員の集い」を開催した。

ア 日 時：平成27年12月2日(水)午後6時～午後8時

イ 場 所：京都ホテルオークラ 4階「暁雲の間」

ウ 参加者：賛助会員 約400名（過去最高）

※ 「第6回 インバウンドセミナー」の開催

日 時：平成27年12月2日(水)午後3時30分～午後5時30分

場 所：京都ホテルオークラ 3階「翠雲の間」

## 2 「京都文化振興友の会」の運営

京都文化振興友の会会員に対して、京都府・京都市・京都商工会議所及び関係団体が主催する催事等に係る情報を提供した。

会員数：137名（平成28年3月末）

## 3 京都迎賓館記念品の販売

京都迎賓館参観実施等に併せ、参観記念品を販売した。

参観実施時

ア 時 期：平成27年8月1日～8月11日（8月1日は参観リハーサル）

イ 記 念 品：販売客数： 2,748名 売上点数： 5,944点

- ①クリアファイル
- ②一筆箋（縦書・横書）
- ③写真はがき
- ④あぶらとり紙
- ⑤メモ帳
- ⑥京都迎賓館伝統技能 DVD
- ⑦ねじり竹箸
- ⑧懐紙
- ⑨ポーチ
- ⑩ブックカバー
- ⑪コースター
- ⑫長財布

ウ 販売高：4,526,460円

エ 委託販売：「京都迎賓館の冊子」 278冊

## V 管理運営

### 1 理事会の開催

#### (1) 第9回理事会

- ア 日時 平成27年6月11日(木) 午前10時～11時  
イ 会場 京都商工会議所 役員室  
ウ 出席者 理事10名、監事2名  
エ 議事 第1号議案 理事、監事の選任を評議員会に諮る件  
第2号議案 平成26年度事業報告に関する件  
第3号議案 平成26年度決算に関する件  
第4号議案 平成27年度収支予算の補正に関する件  
第5号議案 評議員会の開催に関する件

#### (2) 第10回理事会

- ア 日時 平成28年3月10日(木) 午前10時～11時  
イ 会場 京都商工会議所 役員室  
ウ 出席者 理事12名 監事1名  
エ 議事 第1号議案 名誉顧問及び顧問、理事の選任に関する件  
第2号議案 平成28年度事業計画に関する件  
第3号議案 平成28年度収支予算に関する件  
第4号議案 平成27年度収支予算の補正に関する件  
第5号議案 「就業規程」の一部改正に関する件  
第6号議案 評議員会の開催に関する件



第10回理事会

### 2 評議員会の開催

#### (1) 第9回評議員会

- ア 日時 平成27年6月29日(月) 午後3時～4時  
イ 会場 京都商工会議所 役員室  
ウ 出席者 評議員6名 専務理事1名 監事1名

- 工 議 事 第1号議案 評議員の選任に関する件  
第2号議案 評議員会長、評議員副会長に関する件  
第3号議案 理事、監事の選任に関する件  
第4号議案 平成26年事業報告に関する件  
第5号議案 平成26年度決算に関する件  
第6号議案 平成27年度収支予算の補正に関する件

## (2) 第10回評議員会

- ア 日 時 平成28年3月25日（金）午後2時～3時  
イ 会 場 京都商工会議所 役員室  
ウ 出席者 評議員9名 専務理事1名 監事2名  
工 議 事 第1号議案 理事の選任に関する件  
第2号議案 平成28年度事業計画に関する件  
第3号議案 平成28年度収支予算に関する件  
第4号議案 平成27年度収支予算の補正に関する件



第10回評議員会

## 3 書面審議（理事会等を開催しないで審議したもの）

### (1) 理事会

- ① 議案「理事長、副理事長及び専務理事の決定に関する件」を審議するに際し、書面審査により理事・監事全員の同意を得て、議案を承認いただいた。  
(平成27年6月29日)

平成27年度事業報告には、定款第8条第1項2号に規定する附属明細書は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

平成28年6月 公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー